

『地獄変・偷盗』

芥川龍之介／著 新潮社

『偷盗』の作品の評価をめぐり、卒業論文を書きました。芥川は、この作品を「安い絵双紙のかけほどとしい、悪作」としています。

物語の舞台は「7月の『羅城門』」盗賊団が今夜盗みに入る屋敷について相談している仲間内の裏切りが行われようとしています。登場人物の現実と回想、兄弟の絆、新たな命の誕生、人間の葛藤などを描いた作品です。

京都駅烏丸口東側にある、羅城門のレプリカもぜひご覧ください。

司書のおすすめ本 2024年12月



請求記号

B/913アク

資料コード

755743385



『響け！ユーフォニアム [1] 北宇治高校吹奏楽部へようこそ』

武田 綾乃／著 宝島社文庫

京都府宇治市を舞台に、吹奏楽部に所属する高校生たちの心の成長が描かれています。

私が一番好きなところは、主人公の久美子と麗奈が「あがた祭り」を横目に大吉山に登る場面。実際に登ってみると、大吉山展望台からは、宇治川や平等院鳳凰堂をはじめ、宇治の街並みが一望できます。

本書を手に、大吉山展望台で一息つくのは、いかがでしょうか？

司書のおすすめ本 2024年 12月



請求記号

B/913タケ

資料コード

755950488

